



# 明日香村【奈良県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成27年3月 ■ 人口：5,621人 ■ 面積：24km<sup>2</sup>  
■ 担当課：明日香村教育委員会 文化財課（平成30年3月現在）



明日香村は、1400年前に都が置かれ、「日本国」が誕生した地である。ここには古代からの情景をとどめる風土を基盤とした歴史文化が残り、それは「日本国はじまりの地」「あすかびとの暮らし」「日本人の心のふるさと」の要素が重なり展開する。これらの歴史文化を象徴する美を「美しあすか」と呼ぶ。「美しあすか」を学び、育むための基盤を整え、その歴史文化を守り、活かす指針である。

## 5 歴史文化を表す つのキーワード

美しあすか、日本国はじまりの地、あすかびとの暮らし、  
日本人の心のふるさと、あすかの風土

### 課題

- ・ 歴史文化の価値の共有
- ・ 文化財保存の新たな方策
- ・ 周辺と一体となった文化財の活用
- ・ 歴史文化を活かした仕組みづくり

### 保存活用方針

- ・ 「美しあすか」を学び、育む
- ・ 「美しあすか」の歴史文化を守る
- ・ 「美しあすか」の歴史文化を活かす

## 保存活用のための取り組み

### 伝承芸能の保存・継承 ～いにしへの技を守り、伝える

明日香村には古来より受け継がれてきた伝統的な芸能があり、復元・継承に取り組んでいる（南無天踊り・八雲琴・飛鳥蹴鞠・万葉朗唱）。明日香村伝承芸能保存会では、これらの活動を広く発信し、年間6回程度、見学・体験会を開催している。



### これぞ「あすか」！ 飛鳥ブランドの認定

飛鳥で採れる農産物を素材に、歴史や風土、生活文化などのストーリー性を持たせ、農工商業者の技術力を駆使した「飛鳥ブランド」が平成22年に始動した。商工会を中心に、ブランド商品の認定とPR事業を展開し、また、ブランド開発支援やビジネスマッチングなども行われている。



### 劇団「時空」の 飛鳥歴史ドラマの創出

飛鳥の歴史にヒントを得た芝居を作る村民劇団「時空」が生まれた。村民が地域に誇りを持ち、観光客が飛鳥に魅了されるような公演活動が展開されている。公演は村内イベントに連動して開催されているが、村外でも不定期で実施。

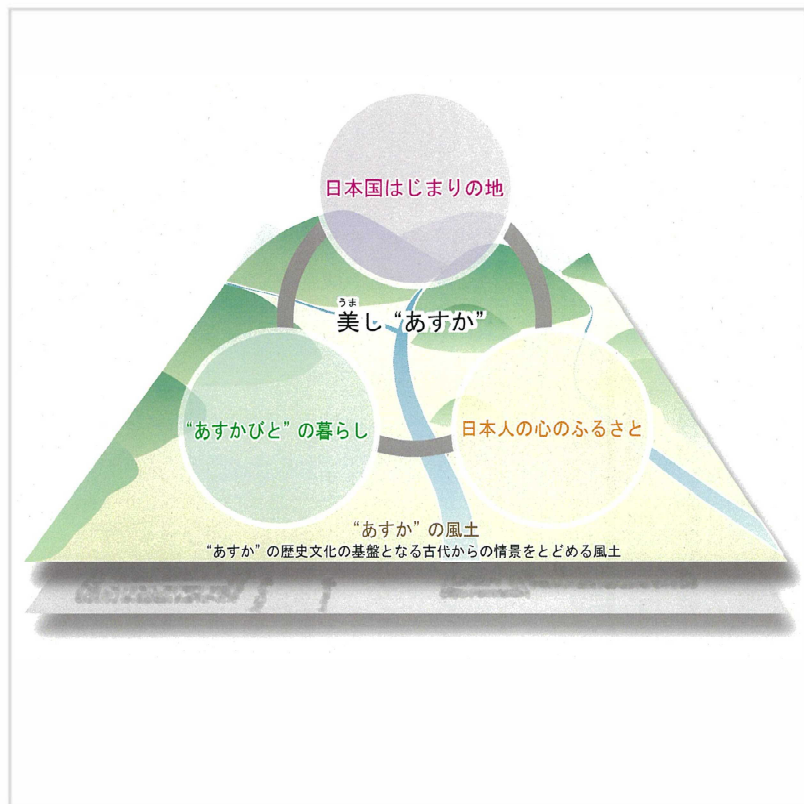


### 民家ステイ・農家民泊で 飛鳥を体験

村内における体験交流プログラムと民泊による教育旅行の受入推進、地域資源を活用した着地型観光を展開していくため、「明日香ニューツーリズム協議会」を設立した。受け入れ家庭は村内で97件、橿原・桜井・高取など含めた広域で188件となっている。



## 関連文化財群



基本理念である「美しあすか」を学び、育み、活かすために、その特徴を構成する「日本国はじまりの地」「あすかびとの暮らし」「日本人の心のふるさと」の3つの要素が相互に循環する関係を創出することにより、「美しあすか」が構成される。さらに3つの要素のもとに7つの関連文化財群を設定し、それらの相互関係を構築する。

### ストーリー

- ①日本国誕生
- ②仏教の伝来と興隆
- ③東アジアとの交流
- ④農と山の生活文化
- ⑤信仰と習俗の継承
- ⑥古都への望郷
- ⑦万葉の世界

## 策定後の成果（見込まれる効果）

### ① 明日香まるごと博物館づくり

明日香村を屋根のないフィールドミュージアムとして、「明日香まるごと博物館」づくりを推進している。観（みどころ）感（体験）食（食事処）買（お土産）泊（宿）など現地で体感することを重視している。これらは歴史文化基本構想がそのベースとなる。平成26→29年度の観光客数は107%の増加率となっている。



### ② 日本遺産「日本国創成のとき」

平成27年に「日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～」として日本遺産第1号に認定された。このテーマは、歴史文化基本構想で提唱したテーマのいくつかと重なっており、認定にあたっての後押しになっている。日本遺産に認定されたことにより、地域での歴史文化の共有が進み、飛鳥の認知度の上昇に繋がった。



### ③ 民泊・民家ステイによる教育旅行

明日香村では、民泊・民家ステイ等での教育旅行を推進している。村内ではホテルや旅館が規制されていることを逆に利用して、泊まるだけではない、農家の作業や生活を体験できるプログラムを造成している。平成26→29年度の宿泊数は3200→6400泊に増加しており、特に、外国人に人気が高い。

